

認定特定非営利活動法人REALE WORLD
2019年度(平成31年度)年次報告

2019年4月1日～2020年3月31日



2019年度（平成31年度） 活動報告

【FC REALE JAPAN】

伊東市の小学生&中学生 60名

FCレアーレは、子どもたちが、希望と目標を持って、自分で生きていける力を身につける機会を提供する場です。サッカーを通し、柔軟でグローバルな視野と考えを持ち、人間力を身につけ、サッカーだけでなく、社会のリーダーになっていくサポートをしています。サッカーの試合では、学年で分かれてプレーしますが、グラウンドの整備やイベントの手伝いでは、学年関係なくみんなで一緒に活動しています。大きな子が小さな子の世話をすることが、自然にできるようになってきました。

昨年度からは、中学生には、サッカーチームの運営にも参加してもらっています。自分たちのチームの運営を自分たちで考え、話し合いながら決めていく、その経験は、将来社会に出てからもきっと役に立つと考えます。



【ハト塾】

伊東市の未就学児童 12名

2019年度も、就学前の子どもたちを対象にしたハト塾を開催。自然と外で友達と遊んでいた昔と同じだけの動きを、意識的に楽しくさせることで、子どもたちの運動能力だけでなく、健全な心と身体を育みます。

また就学中のレアーレキッズのために、木崎コーチが、サッカーの練習時間までの間、勉強を教えています。



キラン選手（ネパール代表ゴールキーパー）との練習や交流を通し、子どもたちの視野を広げ、夢に向かって努力することの大切さを肌で感じてもらう機会を提供

【FC REALE NEPAL】

ティミの小学生～高校生 60名

FCレアーレネパールでは、U12、U16、高校生を中心とするチームに加え、9月から女子チームもでき、総勢約60名となりました。選手だった子が大きくなり、コーチとして参加してくれたり、プロになって卒業する子も出てきています。また、2019年度は、子どもたちをリードできるコーチ育成のための講座や、ネパールサッカーの質の向上に欠かせないレフリー講習会も開催しました。

2019年12月には、FCレアーレジャパンの三好監督が初のネパール訪問を果たし、FCレアーレネパールのキッズやコーチ陣と交流をはかりました。



大好評だった坂田記一さん特別講習

ネパールのレアーレグラウンドでは、雨季が明けた8月に、レアーレキッズやコーチたち総出でメンテナンスを行った



高校生を中心としたチームは、プロリーグCディビジョン（日本で言うJ3）昇格を目標にチャレンジ



まだまだ女性の地位が低いネパールだが、スポーツを通して、男女共に活躍できる社会を目指す



他に類をみない教育型サッカー大会 第1回レアーレカップ開催

5月には、本気と社会貢献をテーマにした第1回レアーレカップ(U12)を開催しました。参加チームは8チーム。参加条件は、社会貢献活動であるワールドフレンズプロジェクトへの参加(=シューズの寄付)としました。試合はノックアウト式トーナメント戦。試合毎に『マンオブザマッチ』を選出することで、子どもたちの本気に火をつけました。

また大会中には、『アスリートの食育講座』や『夢を実現するために必要な事』についての講座もあり、子どもも大人も学びがある楽しい1日となりました。



参加人数
キッズ&保護者 **180**名

浦和レッズハートフルクラブ ネパールツアーをサポート

ティミの小学3年生
~高校1年生 **113**名



サッカーを通して、子どもたちの心を育てるグラスルーツ(草の根)活動を行っている「浦和レッズハートフルサッカーinアジア」。

レアーレワールドでは、昨年の9月、ハートフルクラブのネパールでの活動の現地コーディネイトを行い、ティミの公立学校の生徒たちやFCレアーレの子どもたちを対象にしたサッカークリニックをサポートしました。

人を育てるグラスルーツ活動とは何か、一緒にサポート活動にあたってくれたネパールのコーチ陣にとっても、大きな学びとなりました。

子どもの心と体を育むための 親子で学べるさまざまな講座を開催



アスリートの食育

親子一緒に、心、食、身体について
楽しく学ぶ

4回開催延べ参加者 **103**名



メンタルコーチング

保護者とコーチを対象に行い、自ら考
え、分析し、問題を導き出し、解決して
いく力を身につける

4回開催延べ参加者 **77**名



メディカル講習

アスリートに欠かせない、自分の身体を
知り、ケアの方法を知る

1回開催 参加者 **34**名

HERO PROJECT IN NEPAL

2019年12月～2020年2月

ネパールでの活動報告

【ヒーロープロジェクト with CYC】

2019年12月半ばから2020年2月半ばにかけての約2ヶ月間、ネパールにて、CYC (チャッスルユースクラブ) と共に、ヒーロープロジェクトに取り組みました。

CYCはネパールのトップリーグに昇格して2年目。若いチームで、未熟な点も多く、物資も十分ではありません。しかし、汚職を嫌い、清く強くあろうという向上心あるチームです。レアーレワールドでは、5年計画でCYCをネパールの社会をリードするチームに育て、ネパールの子どもたちを導く存在にしていきます。



プロサッカーチームに欠かせない必要最低限のメディカルキットやトレーニングのための物資を支給しました。

レアーレワールドの働きかけにより さまざまな変化が 起こっています！

レフリーのレベル向上のため、CYCの全ての試合を録画し、レフリーの審判ミスを動画で提出しました。



ネパールサッカー界のレジェンド、サントス選手と、イギリスで本格的にコーチングを学んだバル・ゴバル監督。この兄弟がタッグを組んでチームをリードしました。



サントス理事と日本人選手と一緒にプレーすることでプレーレベル・規律・選手としての考え方を改革。また、代表理事とのミーティングによりオフィシャルの意識改革を実現しました。



ゴールを決めた後、観客席にお辞儀！美しい日本文化、人として大切なことを伝えるのもヒーロープロジェクトの一環。



レアーレワールドが関わることで『時間を守る、ゴミをゴミ箱へ、人の話を聞く』ができるチームになり、それは戦い方、結果にもつながりました。

マンオブザマッチの賞金を、スポーツ用品で代用しようとしたANFA(ネパールサッカー協会)に対し、三好代表理事が抗議。その結果、全選手へ賞金が支払われることになりました。



他のチームが使った後のロッカールーム



CYCが使った後のロッカールーム



【アスリートの食育講座 in Nepal 4回開催】



食の知識が乏しく、プロ意識が低いのが、ネパールの選手の現状です。そこで、選手に必要な食の知識を得てもらうとともに、食を通して選手のマインドを育てることを目的とした『アスリートの食育講座』をネパールでも開催。

日本から岡田先生をお招きし、CYCの選手及び、学びたいと手を挙げてくれた他のチームで講座を開催しました。



【ヒーロープロジェクト with New Hero】



ヒーロープロジェクトでは、サッカー界に限らず、才能があり、努力し、成果を出しているにも関わらず、ネパール人であるという理由で、その上のレベルにチャレンジできない若いヒーローの卵を応援していきます！

写真左は、オフロードバイク界のニュースター、ビム君。右は、レアーレワールドのホームページのトップページでも紹介しているプロモーション動画を制作してくれたラメッシュ君。

才能がありながら、ネパールではなかなか活躍の場が見出せない若者にも、どんどん活躍の場を提供していくことで、ネパールの子どもの夢に向かって頑張れる環境づくりを目指します。

ネパールのメディアへの働きかけ

ヒーロープロジェクトなどレアーレワールドの活動は、ネパールメディアの注目を集めました。特に、サントス理事100ゴール達成時には、取材が殺到しましたが、ネパールの未来を変えるような記事が書ける記者とのみ仕事をしていくスタンスを取り、サッカー界へのメッセージを多く発信しました。



【日本人選手にとってのヒーロープロジェクト】



ヒーロープロジェクトの一環としてCYCでプレーしてくれた日本人選手にとっても、ネパールでの経験は、彼らの視野を広げ、価値観をアップデートする貴重な機会になっています。

ぶつかりあい、反発し合い、それでも一緒に走り、プレーする中で、お互いを認める気持ちが生まれる。サッカーを通して、日本人選手、ネパール人選手、双方がさらに成長すること。それこそがレアーレワールドが求めるところです。



【キランJリーグプロジェクト】

8月には、ヒーロープロジェクト参加メンバーであるキラン選手の、J3トライアウトをサポートしました。キラン選手は、ネパール代表チームの正ゴールキーパーですが、ネパール人であるためにビザの取得が困難で、なかなか海外のトライアウトにチャレンジすることができません。ネパール人選手が海外のプロリーグで活躍すれば、ネパールの若い選手やサッカー好きの少年少女にとって、それは大きな希望になります。今回は、様々な事情により契約には至りませんでした。これからも才能ある選手が海外でのチャンスを掴むためのサポートをしていきます。

WORLD FRIENDS PROJECT

サッカーシューズから生まれる国境を超えたふれあい



ワールドフレンズプロジェクトでは、サッカーシューズを通して、国境を越えた子どもたちの交流を推進しています。靴を買えない途上国の子もたちに、『使わない靴＝捨てる靴』が当たり前になっている日本の子どもたちのサッカーシューズを届けています！



途上国の子どもたちに届けられた靴の数 **300** 足以上

COFFEE PROJECT

ヒムカフェを飲んで、靴を送ろう

ネパールのオーガニックコーヒー「ヒムカフェ」の輸入&販売を、2019年度も引き続き行うことでネパールの社会的に弱い立場の人々に働く機会を提供するとともに、環境保全に対する問題を提起します。また、その販売から得た利益は、日本の皆さまから寄付されたサッカーグッズをネパールに送るために使われました。



コーヒー事業担当 松本美枝



←2019年度はオンラインショップを開設。お気軽に購入いただけるようになりました。豆または粉が選べるようになりお手軽なドリップパックもご用意しています。

ヒムカフェが大好きで、大好きすぎて販売担当となりました!! ヒムカフェはクセがなく、フルーティーでとても飲みやすいコーヒーです! 人の手で大切に作られてネパールから日本に届きます。ぜひ日常のコーヒーとして気軽に楽しんでください。心を込めてお届けします。

ネパールの小規模農家やコーヒー工場働く女性 **80** 名

お問い合わせは、メールにてお気軽にどうぞ!
shop@realeworld.com

ネパールに続きケニアでも、グラスルーツ（草の根）活動の支援をスタートしました

途上国で意味のあるグラスルーツ活動を行うためには、現地の事情に詳しい地元の団体の協力が不可欠です。ネパールでは、サッカーを通してグラスルーツ活動を行う「ゴールネパール基金」と協力して僻地の学校のサッカー部にサッカーグッズ支援を行っています。2019年度からは、新たにケニアのルマファウンデーションと協力して、グラスルーツ活動を行っていきます。



ネパール・ゴールネパール基金

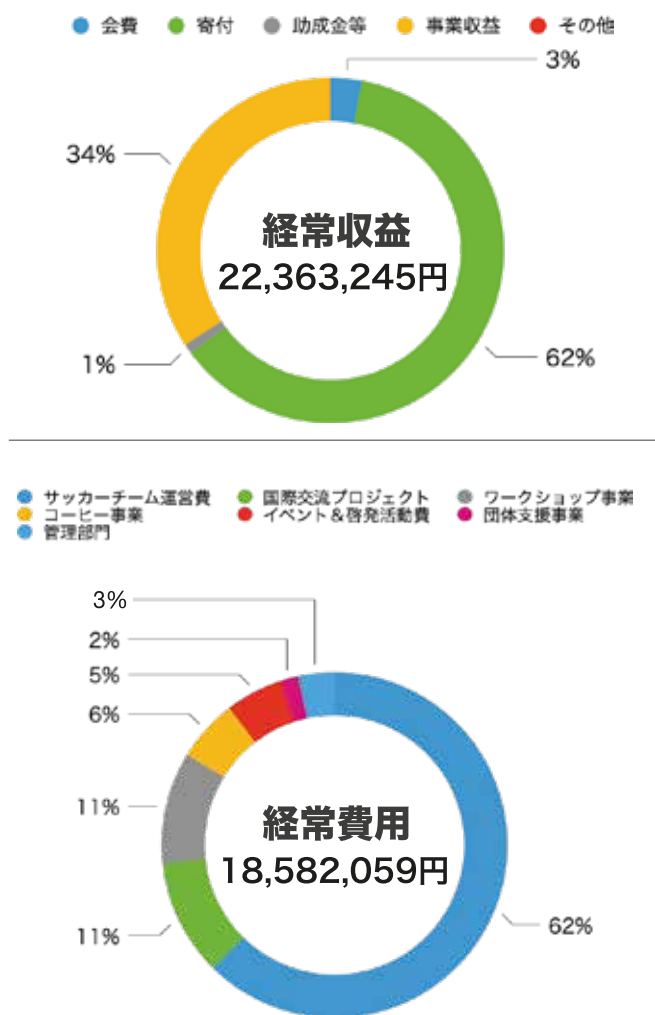


ケニア・ルマファウンデーション

2019年度（平成31年度）会計報告

2019年度(平成31年度)の活動計算書

一般正味財産の部	
【経常収益】	
1 会費(正会員会費、賛助会員会費)	648,000
2 寄附(寄付金、ボランティア受入評価益)	13,864,233
3 助成金等	200,000
4 事業収益	7,644,806
5 その他収益	6,206
経常収益合計①	22,363,245
【経常費用】	
1 事業費	
サッカーチーム運営費	11,587,375
国際交流プロジェクト	2,023,833
ワークショップ事業	1,952,112
コーヒー事業	1,081,536
イベント&啓発活動費	996,774
団体支援事業	315,904
2 管理費	624,525
経常費用合計②	18,582,059
当期経常増減額(①-②)	3,781,186
法人税、住民税、及び事業税	71,000
当期一般正味財産増減額	3,710,186
前期繰越一般正味財産額	▲7,266,734
次期繰越一般正味財産額③	▲3,556,548
指定正味財産の部	
寄附金	2,125,000
一般正味財産振替額	▲1,291,000
当期指定正味財産増減額	834,000
前期繰越指定正味財産額	0
次期繰越指定正味財産額④	834,000
次期繰越正味財産額(③+④)	▲2,722,548



詳しい会計報告は、ホームページをご覧ください。皆さまからの寄付の97%は、特定非営利活動のために活用させていただきました。

2019年度もたくさんのご支援をありがとうございました。

現在、96名の会員様に継続的にサポートしていただいています。
また、それ以外にも下記の団体や企業、個人の方々のご支援をいただきました。

(株)ベストプロデュース	伊藤明子	(有)ビーンズ
木部雅也	稲谷あけみ	(株)伊原工業
YOKOHAMAまごころ基金	(有)三村商事	(株)ヤマシンホーム
横浜ゴム(株)	CIBCABAN	(株)ジュエルオート
	医療法人社団KMR	(一社)ケアラーアクションネットワーク協会
	北村良平	湯浅恵理
	伊東市国際交流協会 瀧下宣彦	湯村るいす
	木村衛生社	

※敬称略

サッカーシューズやユニフォーム、サッカーボール等の寄付で応援いただきました方にもお礼申し上げます。

医療法人社団 KMR 北村良平	FACTサッカークラブ選手一同	三好康児(ロイヤル・アントワープFC)
IM SUPPORT	Mare FC選手一同	片岡洋介
アイリスFC住吉卒団生有志	FC REALE選手一同	塩田仁史(栃木SC)
アヴェルダージ熊本BS	nanana	富山貴光(大宮アルディージャ)
長泉アミーゴス選手一同	小野瀬康介(ガンバ大阪)	中村海季
イナズマイグルス選手一同	三幸秀稔(湘南ベルマーレ)	南葛SC
FCヴェンツラ選手一同	坂田記一	サンラ・イズ
裾野西サッカースポーツ少年団選手一同	石川令	IMGアカデミー(米国)生徒

※敬称略

皆様の応援に支えられ、2019年度も活動することができました。 2020度もご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020度は、コロナ緊急事態宣言を受けて始まりました。
コロナの影響を受け、世の中の全てが変化した
と言っても過言ではない時代で
私たちNPOが、子どもたちのために
何が出来るのかを考える日々です。
この大きな変化により、変わっていく人々を見ながら
やはりこれからの時代は
どんな環境の変化にも対応できる柔軟性
自分の問題を解決していける自己問題解決力
そして、人と協力して生きていけるコミュニケーション能力が
重要になると改めて実感しています。
このような状況にある今年度は
活動を広げるより、活動を深めることを意識し
子どもたちに、そして私たち大人たちにも
どのような場があると柔軟性、自己解決能力
コミュニケーション能力を身につけられるかを考え
作り出していきたいと考えています。
どんな時代の流れの中でも、力強く目標を達成し
生き抜いていける、それぞれの特技を生かし
活躍していける、そんな未来のリーダーたちを育成していきます。



認定特定非営利活動法人
REALE WORLD
代表理事 三好 彩

レアーレワールドへの支援のお願い

レアーレワールドの活動は、みなさまからの寄付によって行われています。
日本の、そして世界の子どもたちのための活動への応援をお願いします。

応援のカタチは、さまざまです

継続して応援する
サポーター登録
年会費6,000円



新規のサポーター会員登録
の方はこちらのフォームから

自由な金額での
単発の応援もありがたく
お受けしています。



寄付お申し込みフォーム

【税制優遇について】

レアーレワールドは、2019年3月28日に静岡県から認定特定非営利活動法人と認められました。これにより、同日以降にいただいた寄付は、税制優遇の対象となります。
個人の方が寄付金を支出した場合は、寄附金控除として、税額控除が所得控除のいずれか有利な方を選択することができます。
寄附金控除を受けるには、確定申告が必要です（年末調整等では控除できません）。この時に、当団体が発行した領収書の添付が必要になりますので、領収書は大事に保管してください。
法人が支出した認定NPOへの寄付金につきましては、一般寄付金の損算入限度額とは別に、特別損算入限度額の範囲内で損算入することができます。

カード決済もご利用いただけます

ご要望の多かったカード決済を導入いたしました。
左のQRコードからアクセスいただき、申し込みフォームにてオンライン決済を選択ください。こちらから、改めてオンライン決済URLをお送りいたします。
サポーター登録済みの方が、更新のためオンライン決済をご希望になる場合は、直接メールにて、オンライン決済希望の旨、ご連絡ください。

【ご利用可能カード】

VISA、Master Card、AMERICAN EXPRESS

ゆうちょ銀行への振り込みもご利用いただけます。

【お振り込み口座】
ゆうちょ銀行
店名 二三八(ニサンハチ)
店番 238
普通預金
口座番号 5838099
口座名義 認定特定非営利活動法人REALE WORLD
記号 12350
番号 58380991

最新の情報は、こちらからご覧いただけます



新しくなったホームページ



公式facebookページ



公式Twitter

ご支援についての詳細やお問い合わせは、レアーレワールド事務局までお気軽にご連絡ください。

NPO
REALE WORLD

認定特定非営利活動法人 REALE WORLD
事務局：静岡県伊東市大室高原1-466 TEL:0557-51-5227 (フェアトレードショップフロア内)
メールアドレス: nporealeworld@gmail.com